



平成17年度千鳥福祉会後援会決算書  
及び平成18年度予算書

【収入】 (単位：円)

項目	本年度予算額	前年度決算額	比較増減	摘要
会費	600,000	594,000	6,000	法人会員 個人会員
雑収入	100	0	100	預金利息等
繰越金	127,260	129,228	▲1,968	前年度繰越金(15周年記念準備金10万円を含む)
計	727,360	723,228	4,132	

【支出】 (単位：円)

項目	本年度予算額	前年度決算額	比較増減	摘要
事業費	500,000	500,000	0	サマーフェスタ2006
	73,500	0	73,500	15周年記念品
会議費	50,000	47,413	2,587	総会
通信費	20,000	14,480	5,520	切手
手数料	4,000	3,775	225	郵便局支払手数料等
印刷製本費	30,000	27,300	2,700	後援会便り(年2回)
雑費	3,000	3,000	0	総会時生花
予備費	46,860	0	46,860	
計	727,360	595,968	131,392	

監事監査報告書

社会福祉法人千鳥福祉会後援会  
会長 稲塚公郎様  
決算書に基づき、会計帳簿、証票類、帳簿その他関係書類について  
精査しましたところ、その内容は適切なものであったことを認めます。  
平成18年5月11日

監事 岩崎 光春

監事 青山 千代子

平成17年度千鳥福祉会後援会事業報告

- 5月11日 千鳥福祉会後援会(第5回)総会開催
- 7月7日 千鳥福祉会後援会役員会(理事・監事)開催
- 7月17日 サマーフェスタ2005共催参加
- 7月29日 サマーフェスタ2005報告会
- 1月24日 千鳥福祉会後援会役員会(理事・監事)開催
- 6月、1月 千鳥福祉会後援会便り発行

平成18年度千鳥福祉会後援会事業計画

- 4月12日 知的障害者通所授産施設ワークセンターフレンド竣工・千鳥福祉会15周年記念式典への参加及び記念品贈呈
- 5月12日 千鳥福祉会後援会(第6回)総会開催
- 7月 千鳥福祉会後援会役員会(理事・監事)開催
- 7月16日 サマーフェスタ2006共催参加
- 8月 サマーフェスタ2006報告会
- 1月 千鳥福祉会後援会役員会(理事・監事)開催
- 6月、1月 千鳥福祉会後援会便り発行

お礼とお願い

千鳥福祉会 理事長 山本 昌子

この春、千鳥福祉会は15周年を迎えました。これもひとえに後援会をはじめ多くの方々のご理解とご支援の賜物であると心から感謝いたしております。そして、後援会様からは記念品として折りたたみ椅子をいただきました。15年前にそろえました椅子も使えなくなったものも多く、このたびの新調はありがたいです。大切につかわせていただきます。ありがとうございました。

15周年などまだまだ乳飲み子で、「喜ぶには足らず」とは思いますが、昨今のニュースを見るにつけ身の細る思いがします。(とは言え、一向に体重は減らないのですが)昨日までの光が今日は影、そしてそれが情報化時代

の中で一層増幅される。どんなにリスク対策はしていても思いがけない落とし穴があるなど、「続く」ということ事態が難しいことなのですね。いつも光の中に居たいのだけれど、影の体験を覚悟しなければ光の中には出られない。影を恐れるなら、光を求めなければいいけれども押されれば光の中に出たりする。一度も光が当たらないのも寂しいと思うところが人でもあるのかもしれない。

福祉事業は公的責任の部分として監視の中で守られてきましたが、社会貢献の上に経営実績という面も加えて光と影の世界に入るときに近いように思われます。社会的弱者という守るべきものの重さを絶えず心に

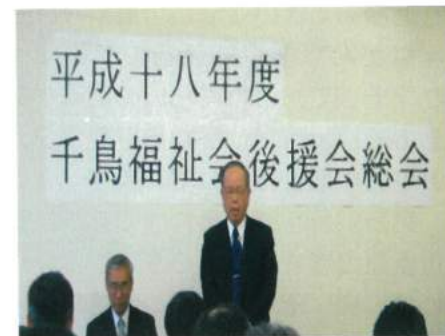
とめ、影にならないように、利用される方々が光のような事業を進めなければならぬと思っております。そのためにも、多くの方の事業に対するご賛同と支援が必要です。どうか、末永くお付き合いいただきますようよろしくお願いいたします。



2006年7月15日 No. 10

後援会便り

社会福祉法人 千鳥福祉会  
〒690-0814 松江市東持田町1415  
TEL. 0852-24-8820 FAX. 0852-24-8825  
(千鳥福祉会ホームページ) http://www.9ocn.ne.jp/~chidori  
(メールアドレス) chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp



ご挨拶

千鳥福祉会後援会 会長  
稲塚 公郎  
(松江土建株式会社社長)

皆様お変わりございませんか、早いもので1月に後援会便りNo.9号が発行されてから半年が過ぎました。そして今年も暑い夏を迎えようとしていますが、同時に私達後援会のメイン事業である「サマーフェスタ2006」の季節がやって来ました。昨年のサマーフェスタは推定3500人の参加者で大いに盛り上がりました。1つの施設の行事にこれだけの人が集まるという事

は大変な事であると思います。今年も昨年同様に盛大なお祭りとなりまして、参加して大いに楽しむ事に意義があると思ひ、私も家族ずれで参加する事にしています。どうか後援会の皆様方の変わらぬご協力をお願い申し上げます。

さて、去る4月12日千鳥福祉会におかれましては、知的障害者通所授産施設「ワークセンターフレンド」の竣工披露と創立15周年記念式典が、多数の来賓の方々を迎え盛大に執り行われました。心からお祝いを申し上げます。平成2年7月に設立された千鳥福祉会が、平成3年4月に持田寮を開設され、事業を開始されてから丁度15年目の節目を迎えられました。一口に15年と申しましても、創業時の苦労やそれを維持して行く事、また世の中の変化に対応して行く事など、幾多の困難があったことと存じます。それらを乗り越えて今日の発展を迎えられた事で、その間の役職員を始め、関係された皆様のご努力に心から敬意を表わす次第であります。

ところでここ数年間、あらゆる分野

での改革が叫ばれ続けていますが、確かに近ごろ景気は回復してきました。しかし中央と地方や企業間、或いは社会生活上などいろいろな面で格差が生じています。若年層の雇用問題、高齢者の福祉問題や障害者への支援の問題など、将来に亘っての多くの不安を抱えております。このような陰の部分に陽が当たるような政策が、今後確実に実行される事を心から希望するものであります。また、私達自身も可能な範囲内で、地域のために少しでも役立つように、各種行事や社会貢献活動に積極的に参加しようではありませんか、明るく希望のある社会の創造のために。向暑のみぎり、皆様のご健勝をお祈りいたします。



講習会後の感想

千鳥福祉会後援会 副会長  
伊藤 立身  
(和幸電通株式会社常務取締役)

先日、島根県民会館にて行われた「安全運転管理者法定講習会」を受けました。私も安全運転管理者の立場になって早8年の時が経過致しました。この間、大きな事故は無く、役員職員並びにその家族の不幸に直面する事は無く、大変喜ばしい事とこの状況を末永く継続していかなければならない事

を、今回の講習を受けて改めて感じたところです。講習会は「飲酒運転の報い 破滅への道」と題した映画で始まりました。皆様にこの映画の主な内容部分を書きましたので、是非参考にいただければと思います。

夫婦と子供二人の幸せな家庭を築き上げていた矢先、夫の飲酒運転により死亡事故という最悪な事態を起こし、その結果、夫は刑務所収監、妻は遺族の償いと子供達との不協和音のため心労が重なり、行く末は投身自殺、実に幸せだった家庭が一瞬にして破滅の道をたどる悲惨な内容でした。夫は社会

の一員、また一家の大黒柱として重要な責任ある立場でありながら、酒席での友人の制止を振り払い「大丈夫だから・お客様が待っているから」と個人的で短絡的な行動した最悪の結末でした。いずれも責任意識の欠如が生んだ悲惨な内容でした。

この様な類は大なり小なり、皆様もよく目にされ耳にされる事と思いますが、他人事ではなく自分の事として感じていただき、皆様、皆様の家族、皆様の事業所の方々にとっても最悪の事態にならないように、心から願ひ閉じさせていただきます。



## 「今どきの子育て！」

千鳥福祉会後援会 監事

### 岩崎光春

(クリエイティブプロダクション  
アドス代表取締役)

「最近の日本は何かおかしい！」  
と思っているのは、恐らく私だけ  
ではないと思います。どんなに財力や  
権力をもってしても、どうすること  
もできない環境問題。テロ、戦争、  
拉致。そんなことをしている場合で  
はないことに、各国の権力者が気づ  
かないことが、いや、気づいてい  
ても、国益？私益？今が良ければ問題  
ないという考えだろうか。温暖化な  
どの影響は既に誰もが体感している  
のに、一向に世界レベルにならない。  
それとは別に、ほんの数年前まで  
日本で殺人事件が起るなんて、蚊  
屋の外的話題だったはず。今では、  
毎日のように起きている。戦争して  
いるわけでもないここ、日本で。残  
念ですがとても身近なニュースと  
なってしまった。

デフレ以降、不況と言う名のも  
と、人々の心は荒んでしまったのだ  
ろうか。不況と言っても、我々の生  
活が、たくわんにみそ汁だけ、とい  
う生活をしているわけではない。国

や大企業が起こしたことはここでは  
別として、身近かで重要なことは家  
族である。子供のしつけは「つ」の  
つく年齢までにと良く言われている。  
今の若い親を育てた、その親は、  
ちゃんと「つ」のつくまで、し  
つけをしたのだろうか？と思われる  
事件が普通に起っている。親子で  
あっても、その親は、家庭の中  
でも個人化をしてしまっているの  
ではないだろうか。自分の今が良  
ければ、自分が良くなるためなら。  
そんな感じに受け取れるのは私  
だけだろうか。もし、その考えが  
存在するとしたら、それは先に  
話した環境問題に対する国対応  
の考え方と同じことになってしまう。  
国の代表者、家庭の代表者も  
同じことになる。全ては、今を  
動かすことのできる個人「人」、  
そう、人災なのではないだろうか。

人は年齢を問わず純粋さを  
忘れてしまっている。心から喜  
び、感動し、自分以外の人との  
共存を感じる。それが生きて行  
くこと、生活の第一歩ではない  
だろうか。人は一人では絶対に  
生きられない。今年も、サマー  
フェスタで、その素敵な感動と  
笑顔に出会えることを楽しむ  
とともに共存を感じたい。



「飯梨川河原にて」

### おやじ〜♪どこへ行く腰に籠下げて〜♪

安来節保存会・一字川流家元

准名人 一字川 勉

千鳥福祉会福祉事業を後援します。

あなたもどじょうすくい踊りを体験して、元気を  
出しませんか。一度、私の道場に来てくださ  
い。どじょうすくい踊りの極意を教えます。  
道場やぶり大歓迎！

そのほか、演芸会用どじょうすくいグッズ、  
ビデオなど何でもそろっています。

「安来節屋」

安来市古川町さぎの湯温泉 TEL 0854-28-6788  
(足立美術館すぐそば) FAX 0854-28-8688

## 必ず晴れていただいて

千鳥福祉会後援会 監事

### 青山まゆみ

いよいよ梅雨の季節に入りました  
が、後援会の皆様におかれましては  
ますますご健勝のこととお喜び申  
上げます。

近づいてまいりました夏祭り、  
今年はどんな祭りになるでしょう  
か？そして、どれくらいの動員が  
あるのでしょうか。今からワクワク、  
ドキドキ楽しみにしています。

第5回目を迎えるわけですが、  
実行委員の皆さんは祭りがマンネ  
リ化しない様、そしていかに気持  
よく楽しんでいただけるかと日常  
の業務をこなしながら2月から  
実行委員会を重ね、着々と準備  
を進めていらっしゃいます。今年  
も多くのボランティアの方々の  
協力を得て運営される訳ですが、  
必ず晴れていただいて盛大な  
祭りになりますよう後援会の  
皆様のご協力とご参加を心より  
お待ちしております。

今年度もよろしくお願  
い申し上げます。



## A先輩のこと

### 野津 哲

Aさんは子供好きの小学校の  
校長先生でした。毎朝校門で、  
児童一人ひとりに「おはよう！」  
と大きな声をかけるのが一日の  
始まりであり、大きな楽しみ  
でした。

そんなAさんも40年近い学校  
生活を終え、晴耕雨読の生活に入  
りましたが、何か物足りない日々  
を送り、次第に元気をなくして  
いたそのとき、ある救護施設か  
らこれまでの経験を生かして指  
導員をやってくれないかと誘  
いを受けました。Aさんは二つ  
返事でOKし、出勤生活が再開  
しました。Aさんは元気を取り  
戻し、家族一同安堵した

## 社名が変わりました。

伊藤忠エネクスホームライフ  
西日本株式会社  
松江営業所長 土江 誠

拝啓

ますますご清祥のこととお喜  
び申し上げます。

平素は弊社ガス供給に格別のお  
引き立てを賜り厚くお礼を申し  
上げます。

さて、弊社は本年4月1日より  
系列会社である伊藤忠エネクス  
ホームライフ西日本株式会社松  
江営業所として、大変厳しい市  
場環境の中、新しいスタッフと  
共に出発いたしました。

LPガス、生活関連商品を中心  
として、お客様にご満足いた  
だくため、

## 重ねての感謝を

### 鈴木 茂夫

昨年度、貴所からの要請で投稿  
したばかりの今年、再び用紙が  
届き、流石にあつかましく貴重  
な紙面を駄文で埋める訳にも  
いかぬ旨返信いたしました。が  
再度の要請、会員は他にも多  
数いらっしゃるのと思いなが  
ら半ば致し方なく先稿と重複  
する点は黙認していただくこ  
を前提に所懐の一端を送るこ  
とといたします。

のでした。

施設の指導は、子供たちの身の  
回りの整理整頓に始まり、みな  
で汗を流す畑仕事、そして規則  
正しい学習習慣の確立と次々に  
成果を現してきました。

ところが保母さんたちは深刻な  
悩みを持ち続けていました。そ  
れは毎日のように押入れから流  
れ出るおしっこ臭いでした。布  
団干しは繰り返されるのでした。

Aさんはこれを知ってひとり決  
心しました。彼は夜尿対策をい  
ろいろ思案した結果、自分が一  
日おきにとまって指導すること  
にしました。こうなると子供  
さんとAさんの根気比べです。  
何年で夜尿症を退治できたかは  
分かりませんが、その後12年  
間施設の

サービス及び保安の向上に勤  
め、皆様のご期待に添うよう  
に全力を挙げて社業に努めます。  
どうか、引き続きお引き立て  
賜りますようお願い申し上げます。

今年も千鳥福祉会を通じ、福  
祉事業に参加させていただくこ  
とにより、多くの皆様との出  
会いができますようご指導お  
願いいたします。

敬具



松江市学園南2-18-1  
TEL 0852-21-0043

子供の指導に当たりました。

子供たちの反応はすばらしく、  
高校進学率も上昇の一途をたど  
り、中には福祉大学を卒業して  
施設で働く青年も出てきました。

古希を迎え引退を決意し、今  
度は本当の家庭人となり、四季  
の移ろいを愛で、草花を育て静  
かな余生を送りました。



写真のお便りをいただきました。

「千鳥福祉会の皆さん、お体に  
気をつけて、この青空のように  
元気で楽しい日々をお過ごし  
ください。

揖屋 島田敦美」

先般、貴所の15周年の式典の  
片隅で念頭を去来した思いも  
さらにそれを深めるものがあり  
ました。政権も今後変わるこ  
ともありましようが、既に民  
意に定着した福祉社会の青写  
真が多少の変動はあるとして  
もO地点に戻ることはないの  
であろうと信じ併せて、貴所  
の更なる発展をお祈り申し上げ  
る次第でございます。